

冬はオリンピックで燃えた!

5月は紅萌会総会で燃える!

3年後は50周年で燃えろ!

今年は
5月17日(日)
です

紅萌会会報

第19号

平成10年5月1日

天王寺高等学校同窓会
大阪市阿倍野区三明町2丁目4-23

発行人 中村俊之
編集人 坂本篤夫

『紅萌会』第44回総会のお知らせ

日時	平成10年5月17日(日) 午後1時より 受付開始はいつものように12時30分。 定刻に開会できるようにお早めにご来場を。 天王寺高校食堂
会場	いつものようにいつもの場所です。ただし出席者はいつもの人ばかりでなく、初めての人も、久しぶりの人も、大歓迎です。
会費	3500円
プログラム	なつかしい先生や友だちと会って話して 食べて飲んで歌って3500円ほっきり もちろん今年も子供さんはタダですから、 ぜひファミリーで出席してくださいね。

挨拶／紅萌会会長&学校長
案件／会計報告&役員改選
懇親／飲食&懇話&絶唱!

不景気続きで
意気消沈だけど
向上心を忘れずに
上昇気流を呼び込み
悲願を確実に実らせて
希望に満ちた年にしよう

母校への熱い思いを
長い人生の励みとし
つらい逆境や病氣と
闘う同窓生の応援歌
それが紅萌会の使命

なんで今さら母校や、同窓会なんや! 都市銀行や四大証券さえつぶれる時代なんやで。まだ手もカネもかかる小っちゃい子供や、年老いた親をかかえて、これから自分の生活がどうなるかさえもわからんというのに、同窓会やなんてしんきくさい! そんなもんにかかざりおうてるヒマなんかあるかいな。
そう、実際これを書いてる私ですら、そう思うこともありますがからね。
でも、私たちは知っている

ます。青春時代を過ごした母校に今も熱い思いを抱いて人生の励みになっている人、あるいは逆境や病床にあって、このニュースが届くのを楽しみに待っている同窓生がいることを。だからこそ、それを励みに私たちががんばっているのです。

まず電話で声を聴く
総会に出て顔を見る
昔ばなしに花が咲き
青春時代に立ち戻る
これが紅萌会の法則
役員や幹事に任せておけば、なんとかなるやないか。自分一人くらい総会に出ても出なくても、別に関係ないんと違うか。

そう、現実になんとかなっていますからね。
でも、本当にそうなんですか。あなたが出席しないため、がっかりしている同級生が毎年何人もいるとは思いませんか。
一度、ごぶさたしているかつての同級生に電話してみませんか。ほら、たちまちのうちに、あの高校生のころの自分がよみがえってくるのがわかるでしょ。

お互いに忙しい毎日ですから、なかなか会う機会がありません。その意味では年に一度の紅萌会総会は絶好のチャンス! 今年こそ久しぶりに会って旧交をあたためてほしいものです。

創立五十周年事業に向けて

いよいよプランづくり始動

一九五二(昭和26)年四月にスタートした母校は、二十一世紀初頭の二〇〇一(平成13)年に、いよいよ創立五十周年を迎えます。前号でもお知らせしたように、五十年半世紀という大きな節目であり、三十周年の時のようにわが紅萌会のみならず、学校をあげての記念行事が予定されています。

取り上げられ、開催日程や行事内容、記念事業委員会の構成など、その進行を具体化するための、基本的な話し合いがなされています。

もちろん、わが紅萌会も全面的に協力していきます。できることなら在校生はもとより、天王寺高校定時制の課程振興会(雇用者・保護者による後援会)にも参加してもら

い、文字どおり全校あげて、この記念すべき日をお祝いしたいと考えています。

紅萌会としてどのように取り組んでいくかは、これから学校側と協議を重ねながら、明確

にしたいと思っています。会員の皆さんには、今後何かとお力添えをいただくことになると思います。協力をお願いします。

卒業式辞

本日、ここに大阪府立天王寺高等学校、第四十四回の卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、公私とも御多忙の中、同窓会より、会長の中村俊之様、理事長の坂本篤夫様、振興会より、会長の堀江裕美様、副会長の森本のお子様、旧職員鈴木親広先生、中村高志先生、佐藤正勝先生、これらの皆様を初め、多くのご来賓の方々のご臨席を賜わり、高い所から甚だ失礼で



はございますが、衷心より厚くお礼申し上げます。又本日ご出席いただきました保護者の皆様、事業所の皆様、本日の御卒業を心からお祝い致しますと共に、本校の教育振興に、多大の御支援、御援助を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。本日は卒業おめでとう。長い四年間、よく頑張りました。一口に「働きながら学ぶ」と言いますが、皆さんにとって、この四年間は、大変な苦勞の連続であったと思いたす。仕事に疲れた体を引きずるようになつて登校した日もあつた事でしょう。「しんどい勉強よりも気楽に遊びたい」という誘惑に負けそうになつた事もあつた。また、仕事や家庭

と勉強をどの様に両立させるかと悩み、学校を辞めようと考えた事も、二度や三度ではなかつた事でしょう。

しかし、本日卒業していただく皆さんは、この困難や誘惑にみごとに打ち勝ちました。その意味では本日手にされた卒業証書は、皆さん方自身が知つて居る様に、どこの学校のものよりも、この卒業証書よりも値千金、価値があると思ひます。

この大阪の名門、天王寺高校で四年間、頑張り通せたということは、皆さんのこれからの人生にとつて大きな自身であり、大きな誇りになると思ひます。仕事の上で、或いは家庭生活の上で、困難に直面した時、本校での頑張つた四年間を思い起こし、困難に負けることなく、果敢に、立ち向つて行つて欲しいと思ひます。

本日卒業していく皆さんに、忘れて欲しくない大切な事があります。それは、頑張つて卒業したのは勿論皆さんの努力にあるのですが、同時に、皆さんの周囲には陰になり、日向になつて支えて下さつた多くの人達がおられたということです。それは、温かい励ましや思いやりを絶えず送り続けた家族の方々、定時制高校で学ぶことに理解を示し、協力を惜しまれなかつた職場の人達、時には皆さんにとつて厳しいと感じ

られたかも知れない本校の教職員の方々、体育祭や文化祭、部活動で共に汗を流し、協力して行い、喜びを分かち合つたクラスメイトの人達などの事でありま

す。一人だけでは出来ないことも、お互いに支え合うことによつて、成し遂げることが出来たのであります。本日の卒業の喜びを、お世話になつた人達と分け合うと共に、日頃のお世話に對し、心から感謝して欲しいものです。

さて、卒業生の皆さん。今日、皆さんを取り巻く世の中は、まさに激動の時代となつて居ます。

阪神大震災、オウム事件、公務員不祥事、大企業倒産、少年犯罪、どれを取り上げても由々しき問題ばかりです。

明治維新以来、我が国は、西歐文明の移入に全力をあげ、国家の近代化を急いで

清く心明るく、正直な心の持ち主だと述べました。しかし、昨今の多発する事件を見てみると、もはやこの様な心は存在しないのではないかと、大変不安になります。私達は、今全力をあげて、これらの心の回復をはからねばなりません。

そのためには、全ての人が、自己を厳しく見つめなおし、人間にとつて生きるとはどういうことか。人間に大切な精神とは何か。自分自身とは何かを、深く考えてみるのだと思ひます。人間とは無限の過去を背負い、無限の未来を内在する歴史的現実を生きる存在です。従つて迷いが生じた時、どうしていいかわからない時は、歴史を振り返り、過去の智慧、古典哲学に学ぶことだと思ひます。

中国の官吏であつた崔銜という人の言葉に「六然」といふのがあります。

- 自如超然(ちようぜん)
- 処人諱然(あいぜん)
- 有事斬然(ざんぜん)
- 無事澄然(ちようぜん)
- 得意端然(たんぜん)
- 失意泰然(たいぜん)

これは、勝海舟が座右の銘としていたもので、六つの自然といつた意味です。

人間として大切な事は、自分の殻にとらわれず、常に自分を成長させ、人に対しては穏やかに、できる限り優しい気持ちを持ち、いざという時には、先頭に立つて人を導き、無事安泰で

ある時は、澄んだ心で安心を喜び、得意の時は、おごらず淡々と、失意で落ち込んだ時でも、嘆かず平然としている。こうした態度でいることを求めているのです。

ここに述べられた如く、私達は常に自己を成長させねばなりません。常に優しい心を持ち、決して驕らず、いざという時は、危険を顧みず、先頭に立つて進む勇氣が必要です。そして、こうした生き方の中では、我がままを通し、人を傷つけ、名誉や権力や財産に執着する生き方は、何の価値も持たないのだという事を、強く示しているのです。

皆さんの人生には、今後色々な事がありましよう。しかし、どういう時にも、この六つの自然体で臨める人間であつて欲しいと望むのです。

今、皆さんとの惜別の時にあたり、私達教職員一同は、皆さんの今後の幸多きことを、今後のより一層の飛躍を、心よりお祈りいたします。

元気で、力強く、卒業していつて下さい。

平成十年三月八日
大阪府立天王寺高等学校校長

松田 孝一

平成9年度 卒業式

送 辞

山の姿がなんとなく変わってきたような、みんなが衣替えをし始めるこの頃、四年生のみなさんは、卒業という節目をむかえられるのです。

卒業おめでとうございませう。

卒業証書を手に入れた今、どんなお気持ちですか。卒業という実感が無いのが今のお気持ちではないかと察します。四年生が学校に来られなかったこの一ヶ月程、給食室のガラーンとした様子や、あかりの消えた教室が、ああ四年生は卒業するんだなあという実感を、在校生に抱かせました。在学中の四年生の姿が私達にも駒送りの様に、よみ

がえります。

給食室での会話、学校までの道のり、電車の中、球技大会、文化祭、体育祭、そしてクラブ活動…

陽気で個性あふれる学年という印象があります。

四年間の中で一番長い時間を過ごされた教室での御様子は、四年生だけのアルバムに焼きついていることでしょう。

少人数で、仕事をしながら通う生徒が大半のこの学校で、みなさんは何を得ら

答 辞

春が訪れて、桜が舞い落ちるなか期待を胸に、わた

れましたか。数々の出会いや、仲間とのふれ合い、先輩の方と共に学ぶということ、授業がゆっくり進むということ、定時制高校ならではの良さがここにはあると思います。

これからみなさんは、それぞれ別の道を歩まれるでしょうが、この四年間で得たもの、天王寺高等学校定時制を卒業したということ誇りに思っ生きてほしいと思います。

たくさんの定時制高校が統廃合されている中、この天王寺高校も一昨年から、三年制が導入されました。四年生だけの卒業式も、これで最後だそうです。きつと学校の様子も変わっていくと思います。

これから入学してくる新入生と共に、私達在校生で新しい色をつけていきたいです。

卒業生のみなさん、先輩にはかなわないかもしれませんが、温かく見守ってください。

最後になりましたが、皆様の健康とこれからの御活躍をお祈りして、簡単ですが送辞とさせていただきます。

一九九八年三月八日
在校生代表 川口由美

ました。

それから四年が過ぎ、いまわたしたち三十五名は一段と大人になってこの校舎から社会人として新たに旅立つところです。

在校生のみなさん、そして先生、お父さん、お母さん、本日は、このように卒業を盛大に祝ってください。心から感謝したいと思えます。わたしたち卒業生にとってこの式は一生の思い出となるだけでなく、社会人として歩んでいくうえで大きな力となることでしよう。

私たちのなかには転校生もいます。夜間中学から来た人、長いあいだ社会人だった人、家が近所だった人など、たくさんの事情を交えてそれぞれの人が集まっています。しかし、年令に差があろうと、どんな仕事をしようかと、わたしたちはお互いを励まし合

い、強い絆を結んできました。球技大会は練習の時から活気あり、本番でもいい成績をおさめていました。なかには、厳しい仕事を終えてから参加している人や家庭の問題で悩んでいる人もいました。にもかかわらず、そのような様子は表情にあらわすことなく、みんなが一致協力していたのがいまも印象に残っています。修学旅行を「三年生」というちように学校にも慣れて気が抜けはじめる頃に

体験しましたが、夜の豪華な食事やデイズニールランドでの派手な散歩は、友だち同士の関わりをより一層深め、この定時制高校がどれほど貴重な思い出をわたしたちに与えてくれるかをあらためて知りました。

文化祭では絵を書いたり、ゲームをしたり、手芸をするなどみんなが役割をわきまえて一生懸命楽しもうとしていました。

ただ残念なのは、音楽好きが多い学年でありながら、バンド演奏を一度もできなかったことです。特に男子生徒のなかにはギターを弾く人が半数近くもいます。また、機会があれば卒業してからも、あつまってコンサートを開いて欲しいものです。

他の友人たちも同じだと思いますが、この四年間をふりかえってみると仕事と学校を両立させるのにいろいろ苦労しました。私も学校を辞めようと思った事が何百回もありました。授業日数が足らず、「あと一回休めば留年だ」ときびしい宣告も受けました。しかし、そんなとき「まだ大丈夫ですよ。しんどいでしょうが、出席だけでもしておけばいいじゃないですか」と、声をかけてくれる友人がいることはわたしの生活のなかでの学校の存在を大きくしました。そして、先生も廊下ですれちがうごとに「仕事が大変なのかい」とやさ

しく言葉をかけてくださいました。そんな学校だからこそ、わたしは、いま、卒業を迎え、この定時制高校から巣立っていくことを誇りに思うのです。

在校生のみなさん、仕事のあとに授業を受けるのはしんどいときもあるでしょうが、たとえ机によだれをこぼすことがあっても、途中で退学するよりは学校生活を楽しいものにして卒業して下さい。

最後に、わたしたちを見守ってくれたご来賓の方々、そして、おいしい給食をつくって下さった栄養士さんと調理員のみなさん、真夜中までご苦労さまだった警備のおばさん、勉強する意味を教えてくださいました先生方随分と親身になって相談のつてくれた教頭先生、全日制とかけもちながら普段働いているわたしたちに数々の教訓を与えてくださった校長先生、本日は、本当にありがとうございます。

一人一人、社会でぶつかることがあっても、この高校に仲間がいたことを励ましにして、わたしたち四十四期生は、強くはばたいていきたいと思えます。

一九九八年三月八日

第四十四期 卒業生代表

渡辺 正

いあいあつ

紅萌会会長 中村俊之

紅萌会の皆様方にはますます清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は紅萌会活動にご支援、ご協力を賜りましてありがとうございます。紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

さて、母校におきましては、本年三月八日(日)に第四十四回卒業式が挙行されまして、女子十六名、男子十九名の方々がめでたく卒業され、紅萌会の会員となられましたことをご報告申し上げます。

また、母校はあと三年で

創立五十周年を迎えますが、学校では五十周年記念行事として、西暦二〇〇一年(平成十三年)五月第三日曜日(同窓会と同じ日)に記念式典を開催することが決まりました。記念誌等を発行するにしても経費がかかりますので、紅萌会としても協力していくこととしております。

紅萌会も毎年の会報の発行、総会の開催経費等ここ数年苦しい状況が続いており、また、五十周年記念事業としても、かなりの費用が必要となつてきます。五

十周年記念事業実行委員会なりを発足させて資金集めをしていく事になると思いますが、皆様方のご支援、ご協力がぜひとも必要ですのでよろしくお願い申し上げます。

私達、役員は三十周年記念事業から携わり、現在に至っておりますが、五十周年記念事業についても微力ながらがんばっていかうと思っておりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の今後ますますのご健康ご活躍をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

50周年記念事業にご協力を

大阪府立天王寺高等学校定時制課程 創立50周年記念式典日程決まる

我が高校の創立は昭和二十六年にさかのぼり、平成十三年の四月が五十周年に当たります。紅萌会は学校との協議を行い、創立記念の式典を同窓会総会の開催日である二〇〇一年の五月二十日(日)とすることを内定し、式典をはじめとした記念事業について学校と同窓会が共同して取り組むこととしました。

記念事業の成功のために

は、実行委員会の設置や事業の内容、資金計画など今後決めていかねばならないことがたくさんありますが、何よりも多くの同窓生の皆さんの参加が重要です。また、事業を進めていくうえでの資金の調達も必要です。紅萌会としましては、とりあえず皆さんに内定した記念式典の日程をお知らせするとともに、年会費をいただいているうえで

は大変心苦しいお願いですが、年会費に加えて記念事業基金へのご協力をお願いする次第です。

実行委員会が設置されれば、実行委員長や会計責任者の決定と記念事業会計を設定しますが、それまでの間は同窓会「紅萌会」の郵便振替口座をもって代えたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

よみがえるか 定時制高校

見直されつつある使命と存在感

ピーク時の五分の一以下に減った生徒数

昨年六月二十七日付けの朝日新聞によれば、ピーク時の一九五三年には全国に三一九〇の定時制高校があり、生徒数は五六万七千名を数えていたそうです。それが昨年は学校数が九一八校、生徒数は十万六千名。つまり学校数が三十%弱、生徒数は二十%以下に激減しています。

今春卒業した四十四期生まで、合計三七四九名の卒業生を送り出してきたわが天王寺高校も例外ではありません。今春の卒業生数は三十五名、ピークに達した

七期生の百三十八名に比べて、約四分の一にまで減っています。こうした実態のもと、統合廃合があいついでいます。が、果たして定時制高校はこのまま衰退の一途をたどるしかないのでしょうか。いじめや不登校生にも新たな道を開く定時制生活保護を受けている母子家庭などの子ども、貧しかったために高校へ進学できなかった中高年の人たちなど、今も定時制高校には働きながら学ぶ人が少なくありません。しかしその一方で、競争

時代の変遷にともなう定時制高校にも新たな役割が求められてきたというべきでしょう。私たち同窓会も、そんな動きをしっかりと受け止めて、後輩たちの向学心を陰でささえていきたいと思ひます。

魅力ある天高定時制の改革

教頭 森部 幸人

天高定時制は平成八年度から次の二点の大きな教育改革に取り組んでおります。

一 従来の四年制コース(四年間で卒業)に、定通併修を導入することにより、三年で卒業できるコースを導入。

① 三年制コース授業形態
月々金 従来の定時制の授業を受講
土(第一、第三、第五)には、本校教員による通信制科目の受講

② 通信制科目とは
面接指導(スクーリング)と添削指導(レポート)を定められた回数をこなし、テストで合格点をとれば卒業に必要な単位を大幅に増やすことが可能になる。

以上のことにより、全日制と同じ三年間で卒業が可能になりました。

二 生涯学習の観点から大阪府民に対して本校生徒と一緒に一部の授業を受講していただくことができる聴講制度の導入
平成一〇年度予定

① 実施科目 書道Iと美術I
② 開講日 月曜日
③ 費用 五、八〇〇円

卒業生を中心に数名受講されています。平成一〇年度は五名の方が受講予定です。等の大きな改革に取り組む、魅力ある定時制教育の充実・発展のために努めております。

友情のページ

昨年いただいた皆様からのお八ガキを紹介いたします。



肺癌手術（左肺全摘）後六年、元気で正常人と同様に頑張っております。癌は必ずやって来ます。皆、検診を忘れないように、オーダーに言えば生命と引き換えます。

岡山市 大桑 修
(旧教職)

毎回、会報をなつかしく読ませていただいています。

平野区 徳永忠和
(旧教職)

退職後は、昼は短大で授業をもち、夜は大学生をしています。現在、大阪工業大学工学部四回生です。定時に勤務していたとき、生徒の一人として先輩の方々が頑張っておられた姿を思い浮かべながら歯をくいしばってここまでできました。

豊中市 出澤 茂
(旧教職)

他の会合と重なったために残念ながら出席できません。一年のこの時期は、これまでよくこんなことがありました。他の時期（例えば秋など）であれば重なることが少なくなるのではないでしようか。

泉佐野市 松浦和夫
(元英語教職員)

今春は生まれてはじめての入院生活となり桜を見逃すことになりました。幸い五月はじめから職場（羽衣

学園）に復帰しております。
吹田市 三木雅文
(元校長)

神戸女子大学の勤務、日本デンマーク体操研究会、日本健康心理学会の活動も順調で、講演や執筆活動を続けています。年に二、三回は研修や集中講義で海外にとんでいます。

芦屋市 外園一人
(元教員)

現在府立吹田高校に勤務しています。定年まであと四年を残すのみとなりました。

箕面市 塩見健造
(旧職員)

平成八年三月、阪南大学（事務理事）を退職し、自由な自然との生活をしています。足腰が不調で失礼いたします。

京都府相楽郡 中畔 肇
(元校長)

決して同窓会を忘れていくわけではありません。五月は出掛けにくい月、その上山陰、出雲からの出席は時間的に不便です。また一期生ですので知人も随分いなくなつたようです。ゴメンナサイ。

出雲市 安部守子 1

始めて同窓会のご案内を頂きおどろきました。ありがとうございました。ごさいました。

枚方市 山岡 博 2

あいにく当日は、中学の親友の七回忌のおまいりに行きます。本年一月には同期生の北村脩君の訃報に接し、この年齢になると寂しい話が多く、元氣なうちに同窓生が集う機会を持ちたいと思つて居ります。

堺市 吉田万弥 3

H7・1・17阪神大震災にて家屋全壊、九死に一生を得ました。

H7・3・31神戸中央病院を定年退職

H8・6・4再建し、もとのところへ帰ってきました。

88歳の老母の介護と愛犬との生活です。まだ震災の後遺症ひきずっています。

神戸市 山口淳子 3

子供二人も巣立ち東京にいます。妻と共に平々凡々に暮らしています。小生ちょっと早めの定年後、一年契約で関西空港に勤めています。

大阪市 新矢植明 3

卒業後四十年初めて同窓会総会に出席できることを大変喜んで居ります。先輩、後輩の知人の変貌（私自身も含め）に驚きとなつたしさを会であじわえることを楽しみにしております。

堺市 東 義治 3

兵庫県職を定年退職しました。引き続き四月一日付け神戸市内の私立学校で頑

張っております。
西宮市 長岡幸男 4

ゴルフや金剛登山に精を出して頑張っております。五月十八日（日）はロータリークラブの大会があり、欠席致します。

松原市 西田庄司 4

今回は出席出来ませんが、一度出席してみたいと思つています。

奈良県宇陀郡 宇田道勇 4

現在（平成9・5・6）姫路郵便局に勤務しています。郵政職員としてのゴールも間近になってきましたが、素晴らしい仕事をさせていただいたことに感謝して一層の努力をしたいと考えて行動している毎日です。

住之江区 有吉喜八郎 5

長崎工業高校定時制課程で教員としてがんばっております。紅萌会会報を毎年楽しみにしております。

長崎県 梶原文明 6

二年余り病んでおりました主人（一廣）は三月に永眠しました。日曜日は訪ねて下さる方がありますので欠席します。

交野市 植田初世 7

今年には体調をくずしておりました。現在養生中です。誠に勝手ながら欠席させていただきます。

滋賀県 福富美沙子 7

あと数年で創立五十周年との事、二十一世紀にも脈々と受け継がれ、卒業生の一つのよりどころとして、心のふる里として、いつまでもいつまでも輝く存在であつて欲しいものです。

泉大津市 御代田フサ 7

昭和三十七年に卒業して以来、総会の御案内を頂いたのは初めてで、内心びつくりしました。中年以上の年齢になり、孫もでき、退職後の生活設計に思い悩んでおります。今回出席できませんが（実父が入院中、実母は十年前に死去、九期生の皆様によりしくお伝え下さい。今、法務省に勤務しております。

交野市 赤松泰雄 9

十二指腸ガンの手術をして早十五年目になります。余り無理のきかない体ですが、転移もせず、今は三時間程のアルバイトに頑張っております。今年の春、十期生の同期会があり出席しましたが三十二年振りにお会いする人が半数近くいました。懐かしくうれしく思いました。

松山市 山岡義行 10

地震から二年四ヶ月、町並みも少しづつですがにぎやかになつてきました。私達家族も毎日元気で頑張つ

ています。長男に孫二人(男女) 二男三男長女は独身です。毎年会報を見るたびなつかしく、アルバムを取り出したりしています。兵庫県津名郡 上田悦子 10

十一期生の方が来ておられたら会報にのせて下さい。
東住吉区 林 清太郎 11

当日、箏曲の演奏会に出演しますので欠席させて頂きます。毎年五月になりますと紅萌会会報がくるのが楽しみです。
鶴見区 鈴木弘子 12

フランス料理のレストラン「喜多亭」を平成元年に開店して十年目になりました。自分一人でシエフもやればギャルソン、マダム、皿洗い等何でもやっています。少しずつお客様も増えます。

で、昨年の十二月には日経ウーマンの別冊「独立、起業、サクセスバイブル」という本に「脱・都会!! 田舎暮らし起業家の優雅な生活」として取り上げていただき充実した毎日を送っています。
有田市 喜多礼子 13

総会案内ありがとうございます。当月、平成六年十一月同会参加の後、翌年の震災で被災、全壊と成り、途方投首の時、同窓生の温かい支援、励ましを受け友達のありがたさを思い知りました。おかげで家の再建も成り、一息ついた所です。
西宮市 吉岡 満 13

地域の子供達とやっているスポーツ(女子キックベースボール)の大会がありますので、参加できません。今年で五十歳になります

後、大阪市に移り住んだクオンさんは同校を五八年に卒業。六一年に渡朝して以来の帰国を知った同級生が十六日に帰国が公式発表されてから呼び掛け、約二十五人が宴席に参加した。同級生だった男性は「とにかく一月、元気な顔が見たかった。今夜は楽しく騒いで、またこれから頑張っとい」と話していた。

が、卒業生が四十名と会報で知り、少なくなっているが頑張っている青年がいると喜びました。
住之江区 笠原之治 13

「人生山あり谷あり」と言う言葉を、つくづくかみしめている毎日です。娘がとつぎ、息子が嫁をもらう年になり、これからと思うに、体をこわし失業という不安がつきまとうこの頃です(大黒柱が)。でもいつか、太陽が昇る事を信じ頑張ります。
堺市 田中邑枝 13

三人目の子供も大学を卒業、四月から就職しました。これからは、ますます私の青春です。
堺市 吉田千鶴子 14

元気に暮らしています。
静岡市 浜崎初枝 14

私達の同期は二年に一度位で同窓会を開いています(最近では一泊での同窓会を二回程)。そちらの方はチョコチョコ参加しているのですが、総会となると一人ではチョットという気がしていましたが、今回は二人三人つれて行きます(予定)。
阿倍野区 甲斐とし子 14

はじめに会報と、このハガキをいただきました。ありがとうございます。友人にも会いたいです。先生にもお会いしたいです。柏木先生、丸山先生、鈴木先生：お元気でしょうか?
豊中市 岩永和代 15

子供も結婚し五十歳をむかえようとしているこの頃、いろんな事に挑戦しているかと思っています。
平野区 森本登茂子 16

私は一九五九年三月に天王寺高校定時制課程の四期卒業生、福岡浩子と申します。卒業後、大阪音楽大学のピアノ科を卒業し、一九六一年五月からは、ここ朝鮮民主主義人民共和国の西海南海岸浦市芸術劇場にて、今までピアノリストとして活動して居ります。

長男がやっと社会人になりました。娘の方は大学で頑張っています。
東住吉区 林 治夫、美恵子 16

天王寺高校の皆さん、私の主人を御紹介しましょう。私の主人はサンド薬品会社のエリートプロパーでしたが、今年二月で依願退職しました。「今、退めると退職金が出るから!」と言います。退職後は海外旅行、今は甲子園等で、心を和ましております。「職安へ行く」と言って出掛けるのは良いのですが、帰宅は無言。忘れたはずのエリート職がまた思い出されるのでしよう。背広姿に見あきた私には(どんな職でも良いのになあ)。この季節、桜の花びらがきれいに散り去ると、そこには緑の木が一本、

高三で北海道より転校して来たので、皆の記憶には残っていないだろうが、私の中の想い出は結構あって年一回の通信は楽しく、特に同期生の一言をみつけると顔がほころびます。
城陽市 吉田由紀子 18

校長先生、定時制四期生の名簿に再び私の名を入れて、その名簿を私にもお送り下さい。

それが主人です。(また咲く時が来ると良い。)主人のあだ名は日本のブロンソン。
富田林市 奥田ひろみ 17

老いても続けられることをと思い、コーラスを始めました。三月に京都コンサートホールの発表会に参加して感激しました。仕事、コーラス、バレーボールで一週間がアツというまに過ぎます。腰痛を除けば、まあ元氣です。
高山市 小倉澄子 18

娘二人共就職(看護婦)看護学生になって家を出、主人も単身赴任で一人で頑張っております。私も放射線の診療所で看護婦を続けています。
岡山市 小倉澄子 18

十八期生の皆様、お元氣ですか?
牛深市 浦崎信子 18

北朝鮮日本人妻 大阪で同窓会

朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)から大阪市に里帰りのクオン・ホヨン(福岡浩子)さん(59)は二十九日夜、大阪府立天王寺高校定時制の同窓生が準備した「臨時同窓会」に迎えら

れ、ほぼ四十年前の思い出話などで楽しんだ。クオンさんは当時の女友達らを見つけると抱き合っ再会を喜んだ。「お帰りのなさい」「乾杯」と笑顔に囲まれ、日本酒も味わった。クオンさんは「日本と北朝鮮が国交を正常化できるように努力しますので、皆さんも頑張ってください」とあいさつした。松江市内の小学校を卒業

が、1月29日、その時の新聞報道です。(1月30日、日本経済新聞)

私は一九五九年三月に天王寺高校定時制課程の四期卒業生、福岡浩子と申します。卒業後、大阪音楽大学のピアノ科を卒業し、一九六一年五月からは、ここ朝鮮民主主義人民共和国の西海南海岸浦市芸術劇場にて、今までピアノリストとして活動して居ります。

校長先生、定時制四期生の名簿に再び私の名を入れて、その名簿を私にもお送り下さい。

小学校のPTA活動(廃品回収日)に当たり、出席出来なくて残念です。長女は高三になり、長男は小五となり、今は二度目の青

春を楽しんでいます。家族みんなで川遊びに行ったり、花の手入れ等々毎日無事に過ごさせてもらっています。

磯城郡 森 淑 21

郵便局で年中無休で仕事をしています。

北葛城郡 曾我通弘 22

長男は高校二年生、天高に通っていた頃の自分と同年齢になります。二十年以上も前になるのです。一日一日大事にしなくてはと、この頃つくづく思います。

住之江区 小川悦子 22

会報を読み、なつかしい方の名前を見つけ参加したいと思っているのですが、今年も日曜出勤となりそうです。

北葛城郡 小田孝子 23

総会に出席した事はありませんが、年一回決まって送られてくる会報が、天定時代を思い出し、旧友に会いたくなります。

観音寺市 堀内春男、年子 22

五月十八日、叔父の法事を済ませ、十九日上阪予定をして居りましたが、出席出来ず許して下さい。先生をはじめ皆様に宜しくお伝え下さいませ。

杵築市 野口キクノ 23

会報に目を通す度に、お

昼は仕事をして、夜は学校で楽しく勉強した事を思い出します。勉強することが好きで、楽しい私は、平成九年四月一日から、日本女子大学通信教育の家庭科を学ぶ事にいたしました。健康で生き生きとなるように、栄養のバランスのとれた食生活をどうすればよいかを勉強していきます。

阿倍野区 橋本妙子 23

上の子が中二と中一になり、下の子が三歳(双子の女の子)になりました。自分の子供が、来年高考生になるのかと思うと、本当に年のたつのは早いなあと思います。

東住吉区 山口葉子 24

目下休養中です。平野区 吉本真秀 24

大阪市水道局に入って早二十年。二十四期生のみなさん、一度集まりませんか。

東大阪市 森本敏夫 24

会報を読み、懐かしい思い出一杯です。

堺市 小泉由利 25

次男の学童野球のおかげで土・日の休みもなく大変な日々を過ごしています。長男は高校受験の年になり、次回の紅萌会会報が届く頃には高校生になっていると思います。月日が経つのは早いこのごろです。

石川県 高田俊文 36

喜三子 28

最近体調をくずし五月一日に退院、五月二十四日に阪和記念病院へ入院し、心臓カテーテル検査等受けることになってます。現在は専ら体力をつけることに努力してますので、出席できず残念です。

住吉区 多田寿枝 32

卒業して十年(!!)も経つと、それまでは全く興味の無かった事が新鮮に目に映ります。それは私が年をとったのか、人間として成長しているのか、考えあぐねる毎日です。それでも、日々楽しく元気に生きています。こう書くとしゃきしやきしてる様ですが、実際はめつちやマイペース山の如く感じてなんです。へへへ。

平野区 辻 祐子 33

去年(前回)も一人で参加したけど、今年(今回)はかならず三十四期生のお友だちをぜひきてくださいね。お願いします。

住吉区 大瀬良信一 34

皆々様、お元気でいらっしやいますか。私も、まだまだ一人ですが、地に足をつけてがんばってます。

東住吉区 方 貞淑 36

結婚して五年がたちます。私のこどもは二人ですが、友達(天定)の子供も

二人つれていくので大人二名、子供四名になります。

松原市 八木千佳 36

母校のちかくに住んでおりますが、校内、並びに卒業生の実状までは存じません。会報は何よりの便りです。有難く拝見致しております。

阿倍野区 谷谷憲治 37

ハガキ返送するのが遅れてすいません。

平野区 亀井真由美 38

三月十五日に結婚して和歌山に来ました。

和歌山県 高垣ルミ子 (旧姓・白岩) 40

今は、二年前からフィットネスクラブを始め、会員

平成十年度スタートに当たって

紅萌会会員の皆様には、平素から本校定時制教育発展のためご理解・ご協力を賜りまして心からお礼申し上げます。

この春三月に第四十四期生三十五名が巣立ち、紅萌会の皆様のお世話になることになりました。

今年度は、一年生七十八名、二年生五十二名、三年生三十八名、四年生三十四名、計二百二名、八学級でスタートしました。なお、下記のとおり四月

さんといつも仲良くアウトドアなどをして結構毎日満喫しています。みなさんも仕事だけじゃなくフィットネスクラブで自分の本当の生き方、見て聞いて感じて下さい。

平野区 福田貴之 40

今、腹式体操の意味で、詩吟の勉強して居ます。呼吸十年とか申し、なかなか上達出来ず、人様にお聞き頂けるところ迄には届きませんが、老いを楽しむ日々を送っています。

平野区 水口丈子 41

今年も行かれそうにありませんので、会費だけ送らせて頂きます。

西成区 藤田卷子 41

住吉区 道嶋 稔 43

遠い所で一生懸命頑張っております。時折、高校生生活を思い出して、淋しく思うこともありすが、逆にそれを励みにもしてがんばっています。

川越市 漆畑真樹 43

四十三期進路状況のイの訂正をお願いします。竜谷大学(経営学科・II部)を龍谷大学(経営学科・夜間主コース)、II部はなく夜間主コースで、昼間主コースの講義が受講できます。だから昼の学生さんとも勉強しており、II部という差別がありませんのであしからずご了承下さい。大変ついでいくのがむつかしいです。

一日付で教職員の異動がありましたので、ご紹介申し上げます。長年本校教育の発展のためにご尽力いただきました先生方の一層のご活躍をお願いしたいと思います。

〔退職〕 吉田 潔(事務長) (財)大阪公衆衛生協会事務局長へ
〔転出〕 竹見 神一(教諭、理科) 府立花園高校へ
日下 昌(常勤、養護) 豊中市立上野小学校へ
〔転入〕 山中 晃(事務長、前府立住之江高校事務長) から
岩佐 貞夫(教諭、理科) 府立今宮(定) 高校から
福田 和代(養護教諭) 府立守口(定) 高校から

今一度、年会費の納入にご協力を

紅萌会の運営については、皆さんからの年会費によって賄われていることについては昨年の会報でお知らせしたところですが、その結果、多くのご協力をいただき、郵便振替による年会費の納入は大口の寄付(十数万円)を含めて、四十八万円に達しました。心からお礼申し上げる次第です。

昨年一年間で、郵便振替で百二十人の方から年会費及び寄付をいただきました。特別会員(教職員)の

方からもいただいています。また、五月の総会に出席された方からも、会費や寄付をいただきました。

多額の年会費・ご寄付をいただき、本当にありがたいことだと役員一同感謝しています。又年会費(年間千二百円)をこのように多くの方に振り込んでいただき、支えていただくことが、同窓会の活動を継続していく力だと感じています。今度ともよろしくお願い致します。

1997年度(44期生)進路状況

ア) 進路の全般的状況

3月卒業時調査

就職

学校・職安斡旋	3
縁故・自己開拓	1
継 続	6
公務員	0
自営・家業手伝	4
未定・アルバイト	12

進学

4年制大学	1
短期大学	2
専門学校	1
浪人・アルバイト	4

その他

1	
合計	35

イ) 就職状況(新規就職内定者)

- (株)サニーエンジニアリング (コンピュータ関係)
- (株)三和金属工業(製造技術職)
- (株)大永(服飾縫製)

ウ) 進学状況

- 4年制大学 大阪産業大学(経営学部)
- 短期大学 大阪城南短大 (生活学科・生活情報コース) 奈良芸術短期大学
- 専門学校 ECCコンピュータ学院 (マルチメディア科)

編集後記

▼現役員・幹事の在任期間が二十年近くになり、平均年齢も五十歳を超えて数年になる。若返りを、若返りをと訴え続けながら、ブルブルこままできてしまっ

た。▼そして気がつけば、母校の創立五十周年が三年後に迫っている。こままでくる、今さらおるるわけにもいくまい。とりあえず五十周年が終わるまで続けるか。

▼それはやむを得ないとして、その後はどうなるのか。「まかしなはれ」と胸をたたくてくれる後継者の出現を待つほかないのだ。若い衆、ホンマに頼んまつせ!

郵便振替で年会費・寄付を振り込んでいただいた方々 (97年5月6日～・敬称略・順不同)

橋本妙子(23) 西田庄司(4) 山岡博(2) 稲葉貞夫(18) 高田俊文・喜三子(26) 仁枝 洋(9) 本多佐代子(17) 塩谷和子(2) 喜多俊子(13) 御代田フサ(7) 鈴木弘子(12) 小泉道男(4) 浦崎信子(18) 宇野 功(1) 落合秀行(11) 藤本辰男(24) 深田敦夫(4) 丸木金勝(10) 中西志づ(29) 浅井いづみ(20) 松浦美佐子(7) 小林孝久(教職) 小山由美子(16) 藤田卷子(41) 東 義治(2) 小川悦子(22) 多田寿枝(32) 大川忠司・孝子(5) 林清太郎(11) 前川治嗣(6) 吉田由紀子(18) 野口キノ(23) 岩永和代(15) 尾形初子(15) 岡本君子(41) 新部義夫(24) 梶原文明(6) 菅原 博(4) 野中由美(43) 笠原之治

(13) 水口文子(41) 志村美幸(16) 方貞淑(36) 大林一子(13) 庭瀬玉江(7) 徳谷国治(25) 小田孝子(23) 水河末弘(13) 植田初世(7) 斎藤允子(20) 油谷勝次(4) 板橋敏恵(25) 中村 正(21) 杉江潤一郎(42) 篠原昭博(3) 田中邑枝(13) 安部守子(1) 堀内春男(22) 陳 惺吟(43) 永田満江(6) 福富美沙子(7) 浅利順恵(7) 畑山法俊(13) 鈴木正夫(教職) 生駒雄子(13) 徳永忠和(教職) 細川君枝(27) 森本登茂子(16) 堀田佳弘(24) 武内貫夫(8) 澤井 章(教職) 出端俊夫(14) 赤川久恵(4)・寛(5) 道嶋 稔(43) 山口淳子(3) 牛丸 剛・寿美子(1) 大桑 修(教職) 林治夫・美恵子(16) 中田武彦(22)

布井康男(9) 木下美佐子(14) 清水賢二(18) 奥田ひろみ(17) 川島英美(18) 正松孝嘉(13) 加々見朝雄(10) 合田博三(13)・邦子(25) 住川光代(10) 小林織子(7) 中野八重子(2) 長岡幸男(4) 平野鈴江(2) 吉田千鶴子(14) 辻本珠江(10) 山岡義行(10) 秋山万理子(8) 犬飼善信(2) 大江道子(14) 西川 忠(4) 東田安子(42) 篠原ヒロミ(3) 葛田千鶴子(13) 久保匡広(21) 石橋清子(31) 岩崎みちよ(6) 寺西君江(11) 杉浦三重子(教職) 三井郁子(13) 木村富士夫(10) 北村みち子(17) 吉田万弥(3) 後藤幸恵(18) 中村博司(6) 記名もれ(6)

43回総会に参加して、会費・寄付等をいただいた方々 (97年5月・敬称略)

田畑博将(5) 天達喜元(7) 古村成正(7) 中村俊之(10) 坂本篤夫(5) 山岡 博(2) 東義治(3) 菅原 博(4) 西村章子(10) 稲葉貞夫(18) 脇豊茂(16) 高比良寿美子(14) 松山純子(14) 甲斐とし子(14) 大神 健(14) 江口 繁(15) 北村昭子(18) 西村唯弘(12) 橋本妙子(23) 森本敏夫

(24) 谷本貞子(23) 千頭 誠(40) 中尾真由美、東田安子、杉江潤一郎 43期生(平成九年度)卒業生 森下久美子、道嶋 悦、伊チヨ子、松本佳子、宮崎好子、野中由美、川口京子、日高涼子、中条美冬、石土裕子、中島成典、桂 範和、田口 剛、矢野貴士、府平道子、佐伯光裕、宮川幸弘、

速水真美、原飛雄馬、菅野正法、村田恭之、町田泰男 特別会員(旧教職員) 柏木先生 現教職員 松田校長、森部教頭、安田主幹、東、芝谷、国政、竹見、各先方 ()内数字は卒業期数

大阪府立天王寺高等学校 定時制課程同窓会「紅萌会」 第43回総会会計決算報告

(1997年5月18日天王寺高等学校)

収入1,371,502円-支出620,880円=750,622円

750,622円は次年度予算に繰り越し

繰り越し金の管理状況	定期預金1	400,000円
	定期預金2	200,000円
	普通預金	150,622円
	現 金	0円

1998年度(第44回総会) 予算(案)

収入	
前年度繰り越し残高	750,622円
総会当日会費	40,000円
卒業生会費	30,000円
学校からの補助金(会報郵送代)	160,000円
年会費(郵便振替)	410,000円
雑 収 入	9,378円
合 計	1,400,000円

支出	
第44回総会懇親会食事代	100,000円
第44回総会懇親会飲み物代	40,000円
第44回総会懇親会お菓子代	10,000円
退転任教職員記念品料	20,000円
会報印刷費	320,000円
会報郵送代	160,000円
諸会議費	60,000円
事務 費	10,000円
合 計	720,000円

収入1,400,000円-支出720,000円=680,000円

収 入	
前年度繰越残高	602,470円
総会当日会費(寄付含む)	99,000円
学校よりの寄付	30,000円
年会費・寄付(郵便振替分)	480,000円
学校からの補助金(会報郵送代)	160,000円
預金利息	32円
合 計	1,371,502円

支 出	
総会懇親会食事代	78,750円
総会懇親会飲み物代	35,200円
退転任教職員記念品料	4,410円
会報印刷費	300,000円
会報郵送用封筒等	13,200円
会報郵送代	160,000円
会報郵送代不足分	12,000円
会 議 費	17,320円
合 計	620,880円

